

中部の未来創造大賞とは？

これからの「地域づくり」は、社会資本の整備だけでなく、その維持・活用や環境保全、その地域の持つ歴史と伝統への配慮などを総合的に考え推進していくことが不可欠です。また、平成20年に閣議決定された国土形成計画(全体計画)では「新たな公」を基軸とする地域づくりの視点が盛り込まれています。「中部の未来創造大賞」では、このような観点から、民間、行政の垣根を越えた幅広い分野で取り組まれているみなさまの活動を募り、表彰し、広く一般に紹介することによって、これからの新しい中部の「地域づくり」に役立てていきたいと考えています。

●第1～13回（平成12～24年度）の主な受賞活動



住民部門

二百万本の彼岸花と四季の花々
で童話の里を彩る環境美化活動

矢勝川の環境を守る会



相生山緑地
オアシスの森くらぶ

相生山緑地オアシスの森くらぶ



熊野古道始神峠の
整備・保存活動

始神峠を守る会



白馬山麓における
積雪期の事故防止活動

特定非営利活動法人 ACT



“いい地域は いい学校から”
“いい学校は いい地域から”
～小学校を拠点とした地域づくり～

石榑の里コミュニティ



企業・学校部門

2020年笠原の森
プロジェクト

多治見市立笠原中学校



“夢を大地に”
アクションプログラム

静岡県立磐田農業高等学校



輝け、サンセット
(夕日が美しい丘)ナンバー1

阿南町立阿南第二中学校



富士山高原の酪農を
元気にする高校生の挑戦

静岡県立富岳館高等学校



地域を守る中学生
～自分たちの町は自分たちで守る～

岐阜市立三輪中学校



行政部門

わしら自慢の公園じゃ
まあいっぺん見にきておくれ
～働く元気高齢者

藤原町役場



里山に生きる
牧田保育園

上石津町役場



うだつの上がる町並みを
生かしたまちづくり

美濃市建設部都市整備課



三島市街中が
せせらぎ事業

静岡県三島市



八穂環境学習教室

海部地区環境事務組合
八穂クリーンセンター



FUTURE CREATION 2013

中部の未来創造大賞

主催／中部の未来創造大賞推進協議会



中部の未来創造大賞については
右記のホームページをご覧ください。



<http://www.cbr.mlit.go.jp/mirai/>

中部の未来創造大賞推進協議会事務局

国土交通省 中部地方整備局 企画部 企画課 — TEL(052)953-8127

一般社団法人 中部地域づくり協会 業務部 — TEL(052)962-9455

✉ mirai@ckk.or.jp

●この冊子は再生紙を使用しています。

みなさんの「地域づくり」の活動を応援します

第14回

中部の未来創造大賞

FUTURE CREATION 2013

中部の未来創造大賞推進協議会

第14回「中部の未来創造大賞」について

「中部の未来創造大賞」は、地域づくりのための活動を表彰し、新しい時代にふさわしい中部の発展と啓発を促進しようとするものです。
第14回目にあたる今回は、3部門で37件の応募をいただきました。
表彰委員会による審査の結果、大賞1件、優秀賞3件、特別賞2件が選考されました。
本冊子は、これらの選考された活動の概要を紹介するものです。
今後の地域づくりに広く役立てていただければ幸いです。

■募集部門



住民部門

個人やNPOなどの民間団体など、一般住民からの応募を対象



企業・学校部門

企業、学校、公益法人などからの応募を対象



行政部門

行政機関(国及び地方公共団体、公団・公社を含む)からの応募を対象



レールマウンテンバイク
「Gattan Go!!」



学生が主体で取り組む、
大学と市民と企業と行政の
地域プラットフォーム事業



桜は高遠の宝! 観桜期活動



持続的で循環型な名水・
阿多古川環境保全活動

C O N T E N T S

第14回「中部の未来創造大賞」について……………1

大賞

[住民部門] ……………3

レールマウンテンバイク「Gattan Go!!」

優秀賞・中部経済連合会賞

※同時受賞

[企業・学校部門] ……………5

桜は高遠の宝! 観桜期活動

優秀賞・中日新聞社賞

※同時受賞

[企業・学校部門] ……………7

学生が主体で取り組む、
大学と市民と企業と行政の地域プラットフォーム事業

優秀賞

[住民部門] ……………9

持続的で循環型な名水・阿多古川環境保全活動

選考を終えて(表彰委員より)……………10

第1回～13回の主な受賞活動……………11

レールマウンテンバイク 「Gattan Go!!」



特定非営利活動法人 神岡・町づくりネットワーク

〒506-1147 岐阜県飛騨市神岡町東雲1327-2 旧飛騨温泉口駅
TEL 090-7020-5852
URL <http://rail-mtb.com>

岐阜県飛騨市神岡町は、古くから鉱山の町として知られる山あいの町です。この町には2006年まで「神岡鉄道」という鉄道が走っていました。鉱山からの貨物の運搬や地域住民の足として、奥飛騨の豪雪地帯にありながら、国道が積雪のために不通になった日にも1日も休まず、地元民の生活を支え続けた自慢の鉄道でもありました。平成18年に廃線となりましたが、旧神岡鉄道はそのままでの姿で残されています。雪深い鉱山の町を支え続けた旧神岡鉄道の面影や、軌道・トンネル・高架など、先人たちの熱意で築いた町のシンボルともいえる鉄道遺産を私たちの手で保存し、単純に残すだけでなく「乗って楽しい」乗り物を走らせることで、地域住民の「心の財産」を形として表すことができるように「レールマウンテンバイク」を開発しました。

創業当初はイベント的な運行でしたが、平成24年からは平日を含めた毎日の運行を開始し、年間の利用客数は2万人を超え、周辺の観光地にも大きな経済波及効果を生み出しています。この背景には全国的にも類を見ない乗り物のカタチ・地元住民が中心となって活動していることから、マス・メディアへの高い露出があり、以前は閑散とした過疎の田舎町が一躍脚光を浴びることとなりました。

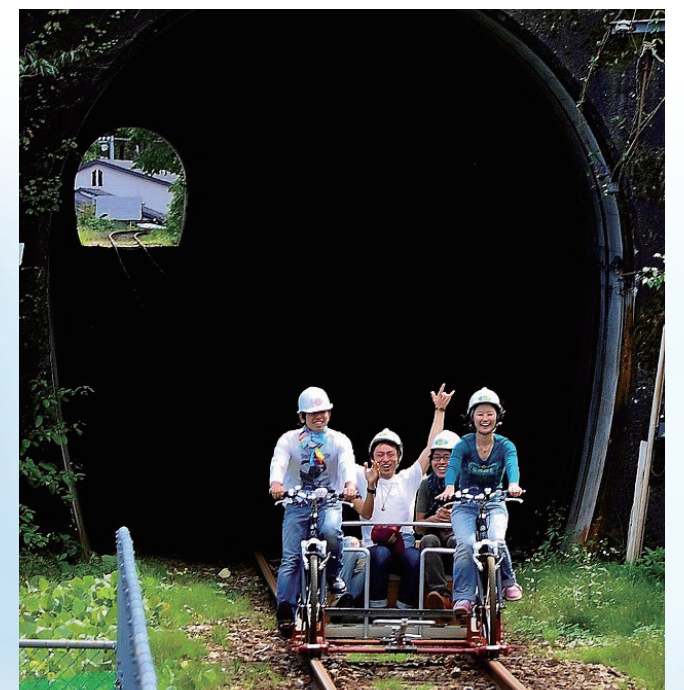
活動開始7年目を迎え、単純な保存活動としてだけでなく、その継続可能な事業性が評価される中で、私たちの「廃線・エコプロジェクト」を発信することにより日本全国の廃線を抱えた自治体の方へ、微力ながらお力になれたらと思います。



「観覧シートでガッタン・ゴー」電動アシスト付きハイブリッド車に、1人乗りの補助席をつけたタイプ



「枕木交換会」年に1回一般公募で行われる傷んだ枕木の交換会



夏場のトンネルの中と外は温度差20℃以上!?



「岩手県のトンネル作業員さん達もガッタン・ゴー」三陸鉄道の小本トンネル内にて



目にも鮮やか! 紅葉ドライブのついでにも♪



桜は高遠の宝！ 観桜期活動



長野県 伊那市立高遠中学校

〒396-0213 長野県伊那市高遠町東高遠232
TEL 0265-94-2142



高遠中学校の学区には、「タカトオコヒガンザクラ」で有名な「高遠城址公園」があり、4月の花見の時期になると日本全国から多くのお客様をお迎えします。高遠中学校ではこの「高遠城址公園」の美しい環境を守るために、昭和52年より全校生徒による「公園清掃」が伝統的に行われてきました。

観光客の増加とともに、この活動は校庭の駐車場開放や売店の設置、体育館トイレの開放に広がっていきました。この活動を「観桜期活動」と呼ぶようになります。当初はPTAが主体の活動であり、生徒は有志による手伝いが主でしたが、平成11年からPTAと生徒会が2本の柱となり運営を始めました。現在では、地域、保護者、生徒、教職員が一体となった活動となっています。

東日本大震災の影響を受けた思いを受け継ぎながら、「笑顔でおもてなし。」を合い言葉に、案内や売店の声も爽やかで、生徒は素晴らしい姿を見せています。

この「観桜期活動」に触れられた全国のお客様から頂戴するたくさんのお手紙が、毎年生徒の活動の励みとなっています。

具体的な活動内容は以下の通りです。

- ・駐車場案内(無料開放)と公園までの道案内、パンフレットの配布
- ・体育館トイレ開放及び清掃活動、スリッパの準備
- ・桜茶接待
- ・生徒会売店による地域の特産物の販売活動



桜茶接待



無料休憩所



生徒会売店による地域の特産物の販売活動



桜茶の接待と道案内



駐車場案内

学生が主体で取り組む、 大学と市民と企業と行政の地域プラットフォーム事業



三重大学 環境ISO学生委員会

〒514-8507 三重県津市栗真町屋町1577
TEL 059-231-9224
URL <http://www.ceme.mie-u.ac.jp/student/index.html>



三重大学環境ISO学生委員会は、「学生主体」で、学生の自由な発想で環境活動を推奨していくことを目指した団体です。活動目的は、3R活動を中心として地域や行政の方々や学生をはじめとした三重大学にかかわるすべての方の環境マインドの向上と、学生委員会が、「学生と地域の住民、小中学校、地元企業」の活動の場を提供するプラットフォームとなることです。具体的な活動内容は、以下の通りです。

- ・大学周辺への不法投棄がある問題について、不法投棄が行われやすい「家電製品」「自転車」を不用になった卒業生などから回収し、留学生や新入生にリユース製品として再活用する活動をしている。
- ・学生及び教職員から出される紙資源について、学生委員会と大学と古紙回収業者により古紙回収ボックスを学内に3カ所設置し、回収した古紙をトイレトーパーにリサイクルし、学内のトイレで使用して、活動が「見える化」され、一般学生に対しても環境意識の向上を促す活動をしている。
- ・大学並びに大学生協の協力により、全教職員及び学生にエコバッグを配布し、学内生協売店ではレジ袋の有料化、また学内に全国で初めてレジ袋を置いていないコンビニができるなど、学生の呼び掛けからレジ袋の使用量を99.9%削減する活動成果がでている。
- ・学内の落ち葉の焼却処理について、学内の落ち葉を回収し、堆肥化を行い学内の花壇及び緑のカーテンの肥料とする活動をして、また附属の小・中・特別支援学校・幼稚園と、近隣の小学校及び連携のある三重県内の企業等へ無料で譲渡する活動をしている。
- ・県内外で開催される環境関連活動への出展など協力依頼が多く積極的に協力・参加し、環境活動の発表やブース展示を行い、環境問題を地域社会とともに考え、環境マインドの向上を図る活動をしている。



卒業生から回収した家電製品



エコバッグ持参をすすめるキャンペーン



落ち葉堆肥作成



学生がデザインした古紙回収コンテナ



環境関連活動へのブース出展

持続的で循環型な名水・ 阿多古川環境保全活動



阿多古川環境保全協議会

〒431-3423 静岡県浜松市天竜区渡ヶ島1584
TEL 053-925-3325



静岡県浜松市の山間部にある阿多古川は、都市部から近いこともあり夏場を中心に多くの遊泳客で賑わうなど、地域住民だけでなく都市部住民の憩いの川として親しまれています。しかし、遊泳客等によるゴミの放置などその河川を取り巻く自然環境の保全が課題となっていました。

そこで、阿多古川流域に居住する地域住民が協議会を組織し、その良好な自然環境を保全することを目的に環境保全活動を行っています。

この阿多古川は、地域の生活に溶け込んでいる清澄な水環境の中で、特に地域住民等による主体的かつ持続的な保全活動が行われているものとして、平成20年6月に環境省から「平成の名水百選」として認定されています。

具体的な活動内容は以下の通りです。

- ・阿多古川の自然環境の保全について、河川パトロール等の啓発活動や清掃活動を実施するだけでなく、課題の根本的な解決のために、河川周辺の草刈や竹林伐採、遊泳客対策の駐車場整備や仮設トイレの設置などといった周辺環境の整備活動をしています。
- ・伐採した不必要な竹を使って、浜松市南区の団体と協働で、遠州灘沿岸の中田島砂丘の海岸浸食を食い止めることを目的とした堆砂垣づくりの活動をしています。



河川周辺の竹林伐採作業



河川美化活動

委員長

名古屋工業大学名誉教授

山本 幸司 やまもと こうし

昨年よりも応募件数が減ったことは残念ですが、活動内容が多様化しているという印象を強く持ちました。なかでも書類選考をパスされ、現地調査の対象となった8件の関係者の熱意に感銘を受けました。応募頂いた各団体のますますのご活躍を祈念致します。

副委員長

三重大学名誉教授

渡邊 悌爾 わたなべ ていじ

受賞された活動はそれぞれ地域活性化や環境保全に貢献する優れたものである。特に大賞が授与された活動は、廃線という負の遺産活用により地域活性化に貢献し、持続的発展可能性が見込まれる先駆的活動と評価される。

委員

駿府静岡歴史楽会事務局代表

竹内 礼子 たけうち れいこ

今回いくつかの活動団体を現地に訪ねた。地域住民と学校、地域住民と観光客、地域住民と企業など、地域づくりは関係する人たちが、地域固有の自然や歴史を楽しみながら学び、訪れる人を「おもてなし」する姿が印象に残った。



選考を終えて
(表彰委員より)

委員

中日新聞社事業局長

山口 宏昭 やまぐち ひろあき

いくつかの活動団体を訪ねたが、規模の大小にかかわらずどれも熱意が伝わる活動であったし必要不可欠なものであった。年配者がこれからの未来を担う若者に伝承していく活動が多い中、その若者が発信して自らの手で地域をつくりあげようとするものがあつたことをうれしく思い、また応援していきたい。

委員

名古屋大学大学院教授

森川 高行 もりかわ たかゆき

南海トラフ巨大地震への対策が喫緊となっている中、防災系の応募が減ってしまったのは、津波避難などの訓練が当たり前になってしまったからだと思いたい。一般論としては、地域に根付いて息の長い活動を行っていくために、活動母体の後継者も育てる取り組みに期待したい。

委員

(一社)中部経済連合会常務理事

菅原 章文 すがわら あきふみ

各団体とも、メンバーの方々が明るくやりがいを持って取り組まれ、かつその活動が外部の人々にも浸透していることに、未来への可能性を強く感じました。

今後とも各団体が継続的に活動され、より良い地域づくりに貢献されますことを祈念いたします。

委員

中部地方整備局長

梅山 和成 うめやま かずしげ

今回、応募いただきました活動では、中学校、大学、NPO、企業などの多様な主体による、防災、環境保護、地域づくりといった地域に応じた活発な活動が見受けられました。また、関連団体との協同や次世代に継承されている活動が数多くあり、「中部の未来」を担う各団体の活動がますます発展されることを期待します。

中部の未来創造大賞推進協議会

国土交通省中部地方整備局

長野県

岐阜県

静岡県

愛知県

三重県

静岡市

浜松市

名古屋市

中日本高速道路株式会社 名古屋支社

名古屋高速道路公社

独立行政法人
水資源機構 中部支社

地方共同法人
日本下水道事業団 東海総合事務所

独立行政法人
都市再生機構 中部支社

公益社団法人
土木学会 中部支部

一般社団法人
中部地域づくり協会

一般社団法人
日本建設業連合会 中部支部

一般社団法人

建設コンサルタンツ協会 中部支部

一般社団法人

長野県建設業協会

一般社団法人

岐阜県建設業協会

一般社団法人

静岡県建設業協会

一般社団法人

愛知県建設業協会

一般社団法人

三重県建設業協会

株式会社中日新聞社

後援／一般社団法人

中部経済連合会